

## 平成28年度教育事業「はなやまんまる☆キャンプ☆アドバンス②」

### 1. 趣旨

東日本大震災を経験した沿岸部地域に在住する児童の心身の健康、リフレッシュを図るために、冬季における自然体験の機会を提供し、復興への前向きな姿勢につなげる。

### 2. 事業概要

(1) 期日 平成29年1月7日(土)～1月9日(月・祝)【2泊3日】

(2) 参加者

①参加対象 宮城県沿岸部(石巻市・気仙沼市・南三陸町)在住の小4～6年生

②参加人数101名(募集50名)

③参加者の内訳(男32名 女69名)

### 3. 企画運営のポイント

①参加者は沿岸部の雪のない地域の子どものため、雪上体験を多く取り入れたプログラムとする。

②参加者が予定の倍となったため、安全管理を徹底するとともに、グループを基盤とした集団生活を送ることができるようにする。

### 4. 日程

	1月7日(土)	1月8日(日)	1月9日(月)
午前	11:30 受付	7:15 朝のつどい 9:10 スキー体験 すりばち広場	7:15 朝のつどい 9:00 クラフト活動
午後	13:00 開講式 14:00 雪遊び 冒険広場 17:00 タベのつどい	13:15 雪遊び すりばち広場 17:00 タベのつどい	13:00 閉講式
夜	19:15 スキー靴合わせ	19:30 まんまリンピック	

### 5. 主な活動内容



①1日目「雪遊び」



②2日目「歩くスキー体験」



③2 日目「まんまリンピック」  
寝袋たたみ競争 他



④3 日目「クラフト～モダンテクニック」  
2017 新春カレンダー作り

## 6. 成果と課題

### (1) アンケートの結果

満足83.2% やや満足16.8% やや不満0% 不満0%

### (2) 参加者の声

- このようなイベントがたくさんあったらいいなと思った。
- 他の学校の子と仲良くなることができたし、とっても楽しい3日間でした。
- 友達ができたので、また来たいと思いました。
- 友達と一緒に過ごして、親がいないとたいへんだなと思いました。
- 何でも自分でやるのがすごく大変で、お母さんの気持ちがよくわかりました。
- わかりやすいし、楽しくておもしろいことを優しく教えてくれた。
- とても楽しくて最高の思い出になりました。
- 友達は大切だと思った。生活のリズムがくずれないなと思った。

### (3) 成果

- ①沿岸部の子どもたちが、普段体験できない雪上体験を十分に行うことができた。  
雪上でそり、チューブに乗ったり、スキーで滑ったりしたことが子どもたちの気持ちのリフレッシュとなった。
- ②多くの子どもたちが、さまざまな学校から参加することで、子どもたちにとって新しい出会いの場が増え、コミュニケーション能力が高まった。

### (4) 課題

- ①雪不足のためキャンプ中の雪上体験プログラム実施が危ぶまれた。実施時期も含め、雪がない場合のプログラムを検討していく必要がある。
- ②参加者が多く集まった場合、スタッフの人数を増やし多くの目子どもたちを見守るなど、今後も安全管理には十分配慮する必要がある。
- ③12月に実施した宮城県沿岸部対象事業とともに、対象地域についてどのようにするか検討する必要がある。現時点では、12月の事業を含めても宮城県沿岸部を網羅できていない状況である。